

名家連ニュース

平成30年10月23日(火)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 556号

第2回 精神疾患基礎知識講座開催

10月18日(木)の講座の参加者は60名(家族40名、一般20名)でした。古水先生は「薬物療法」と「精神療法」の具体的内容を説明。「家族のかかわり方」の中では「高EEと再発の関連性」と「正確な知識を得る」ことの大切さ、「社会資源」では「活用できるものは遠慮なく使いましょう」と各種制度を紹介されました。



参考：「メタ認知トレーニング(MCT)とはスライドを使って色々な見方・感じ方を知る」、「高EEとは本人に対し強い感情表出が向けられる状況」。「高EE」の主な3つのパターンは①批判的コメント②敵意③巻き込まれなど。感想：「日本でもオープンダイアローグを普及してほしい」「高EEの自分に気付き振り返り反省しきり」「やわらかい話で分かり易かった」

感想：「日本でもオープンダイアローグを普及してほしい」「高EEの自分に気付き振り返り反省しきり」「やわらかい話で分かり易かった」



第2回 家族SST講座開催



家族SST講座は3クール目に入りました。10月20日(土)も初参加の家族3名参加。吉田先生からSSTは社会生活技能(対人行動能力…自分の考え方や気持ちを上手に相手に伝える)の練習であり、参加のルールなどを説明していただきました。参加者が1ヶ月の近況を述べた後、初参加の方の悩み事を一緒に考え合いました。感想：「お互いに気付かされることが多く、それを楽しみに参加している」、「女房任せでどう接していいか困っていたがSSTのお陰で会話ができるようになった」…拍手、「夫は、私にも本人にも上から目線で高EEなのが悩みの種です」…

参加した10人の父親には私も含め耳が痛い話でした。(文責：事務局堀場、最後の感想は親父の独り言です。)

～こころの健康を願う市民と家族のつどい～

第29回「晴れときどき虹」

現在、厚生労働省の方針である「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築」に向けて、具体的な取組みが都道府県・政令都市で進められています。

精神障害者の地域移行・地域定着支援事業の鍵は、精神保健・医療・福祉関係者の連携如何に係っており、「精神医療の今」を知ることは極めて大切な問題です。

声を掛け合い、誘い合って講演会にお越し下さい。

名古屋市精神障害者家族会連合会会長 堀田 明

第29回
名古屋市精神障害者
家族交流事業

晴れときどき虹

～こころの健康を願う家族と市民のつどい～

精神医療の今

講師 粉川 進 先生

日時 平成30年10月28日(日)
開場 12:30
開演 13:00～16:00

会場 中区役所ホール
(地下鉄「栄」駅下車 東へ徒歩3分)

入場無料

スケジュール

- 13:00～オープニング
①「マッキー＆ミッキー」のギター伴奏による歌の披露
②「なないろ」メンバーによる歌披露【ヤングマン(NMCA)】
- 13:30～「精神医療の今」粉川 進氏 愛知県精神医療センター院長
精神科医だけでは改善されない、チーム医療の活用をお話して頂きます。
- 14:20～「成人発達障害の支援プログラム」臨床心理技師 沢出 新吾氏
発達障害を持って生きづらい方々、家族の方の在り方をお話して頂きます。
- 15:05～「家族のための勉強会 一当事者との関わり方を中心に」臨床心理科長 山田 勝氏
家族は精神を病んだ当事者との対応を勉強しています。
- 15:40～質疑応答

定員 350名

要約筆記
手話通訳あり

主催 NPO法人名古屋市精神障害者家族会連合会・名古屋市
協賛 NHK厚生文化事業団中部支局
中日新聞社会事業部
後援 名古屋市健康福祉局障害福祉部障害企画課 ☎052-972-2532

心の病の人 その家族の人、を優しく見守っていたら、心の病は癒える人へ…

甲州・東海ブロック精神保健福祉促進研修会/高山大会
11月9(土)/10(日) 高山市民文化会館